



中央検査部だより



2018. 6.20発行 第65号

中央検査部 部長挨拶 上田 一之

本年4月より中央検査部部長を拝命致しました上田一之です。昭和52年山口大学医学部を卒業し、産婦人科医として40年間働いてまいりました。平成2年よりは本院産婦人科で従事し昨年度末をもって定年退職しましたが縁あって顧問として再雇用されました。もとより検査部の業務については素人ですのでこれから徐々に検査部のシステムや内容について勉強していくつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。



日常診療における検査データは大変重要な役割をもっており、その正確性及び精度の維持管理が大切になります。副部長の高橋医師や渋谷技師長以下、検査技師の皆さんとともに努力していくつもりです。ので今後とも暖かい支援やご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

中央検査部 技師長挨拶 渋谷 秀美

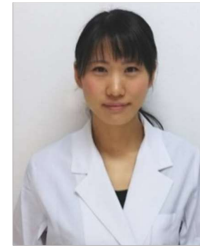
今年度より上田一之新中央検査部長の下、中央検査部技師長を務めさせていただきますこととなりました。5年間の副技師長としての経験を活かし、これまで検査部が目指してきた方向性を継承しつつ、その時々の方勢にあった動きのできる検査部を目指していきたいと思っております。



今年度は電子カルテの更新に合わせ、①5つの部門システムの更新、さらに念願であった②検体搬送システムの新規導入が行われ、今後の検査部にとっては非常に重要な意味を持つ年度となります。また、国際認定 ISO15189 の更新審査の年度でもありますが、この機会に認定範囲を大幅に増大させた③拡大審査を受審する予定です。一つ一つのイベントを考えてみても、大変な労力を要するものです。これが同年度に3つも重なっているという状況を考えると、検査部全員が一丸となって取り組まなければ、とても乗り越えることは出来ません。

検査部では常々、医師、看護師をはじめとした他職種医療従事者の負担軽減を念頭に、業務改革を進めてきました。今年度はこれを検査部としての重点目標と位置付け、各部門が月々の成果や進捗状況を会議報告することを決定しています。上記イベントも、すべてこれに通じるものであり、今後一層、努力してまいりますので、ここに更なるご指導、御協力をお願いし、着任のご挨拶といたします。

～新人紹介～



出身地: 山口市
血液型: A型
趣味: 野球観戦

今年度から正規職員として生理機能部門に配属されました、田中咲穂と申します。これまで有期職員として5年間当院で働いておりましたが、今年度から新たなスタートとなります。まだまだ足りない点もありますが、諸先輩方のご指導を賜り、職員の皆様や患者様から信頼される検査技師になれるよう、今まで以上に努力いたします。よろしくお願いいたします。

* CBC 測定機器が新しくなりました *

新しい血小板測定法の導入や、白血球数低値検体の白血球分類精度が向上しました。

また、すべての CBC オーダーで有核赤血球数 (NRBC) を測定できるようになりました！

旧	結果	新	結果	コメント
白血球数	3.75	白血球数	4.30	
ヘマトクリット	12.0	血色素	13.3	
MCV	96.5	ヘマトクリット	40.4	
MCH	32.0	MCV	94.0	
MCHC	33.1	MCH	30.9	
血小板数	23.9	MCHC	32.9	
白血球分類 (目視)	119	血小板数	22.2	
骨髄球	1.0	白血球数	4.5	
後骨髄球	0.5	有核赤血球	6.0	
リンパ球	9.5	有核赤血球	6.0	
単球	63.0	有核赤血球	6.0	
好酸球	2.5	好酸球	55.2	
好塩基球	1.0	好塩基球	4.0	
リンパ球	10.5	リンパ球	1.5	
単球	2.0	単球	33.3	
好中球 (参)	(+)	好中球 (参)	6.0	
奇形・その他	(+)	好酸球 (参)	55.2	
コメント 1 alllyl+		好塩基球 (参)	4.0	
コメント 2 schizo(+)		好塩基球 (参)	1.5	
コメント 3 Codo(+)		リンパ球 (参)	33.3	
コメント 4 listo(+)		単球 (参)	6.0	

※有核赤血球数の結果表示位置が変わっています。



XN-9100(Sysmex)

ホルマリン分注済み容器およびホルマリン溶液濃度の変更について

病理検査室

ホルマリン分注済み容器を新容器へ、溶液濃度を現行の15%中性緩衝ホルマリンから**10%中性緩衝ホルマリン**へ変更いたします。使用方法の変更はありません。現在の在庫品が無くなり次第、新容器10%中性緩衝ホルマリン溶液に移行する予定ですのでよろしくお願いいたします。